

元気なまちかど

1 news 五感で甲賀を堪能

[JRふれあいハイキング]

草津線沿線の酒蔵を巡るJRふれあいハイキングが3月に実施され、22日には「戦国時代の甲賀路を歩こう」をテーマにした約6キロのコースを約40人が楽しみました。

甲賀駅を出発した後、ボランティアガイドの案内で篠山城跡や大鳥神社など4カ所を巡って地域の歴史に触れ、最後に酒造店を訪ねました。

参加者は、疲れた身体に染みる風味豊かな新酒に舌鼓を打ち、五感で甲賀を堪能する一日となりました。



▲大鳥神社を訪れ地域の歴史に触れる参加者

2 news 春の訪れを告げる時代絵巻

[第18回 甲賀市あいの土山斎王群行]

天皇の即位ごとに名代として都から伊勢神宮に送られた斎王の行列を再現した「あいの土山斎王群行」が3月22日、土山町で行われました。

この催しは、地域の歴史を発信しようと実行委員が毎年実施し、春の訪れを告げる当市の風物詩ともなっています。

当日は、斎王役の上田咲姫さんをはじめ平安装束に身を包んだ約80人の一行が、大野小学校から垂水頓宮跡までの約3キロを練り歩き、沿道では、大勢の観衆が雅な時代絵巻を楽しみました。



▲厳かな雰囲気の中で行われた禊ぎ式

3 news

入学前に通学路の安全を確認

「安心・安全 自転車通学体験事業」

自転車事故を防ごうと、城山中学校の新1年生を対象にした自転車通学体験が3月28日、行われ、12人が参加しました。

この体験は、市が取得を目指している世界基準の認証制度「セーフコミュニティ」の取り組みの一環で、岩上、水口両自治振興会などが、モデル事業として初めて実施したものです。

参加した児童は、岩上、水口地域の通学路を走り、安全指導のボランティアと交差点などの危険箇所を確認しながら安全な通学に備えました。



▲危険箇所を確認しながら通学路を走行する児童

4 news 体験を通し理解を深める

[土山中学校 ボランティア入門講座「心ほかほかデイ」]

土山中学校で3月23日、ボランティア入門講座が行われました。

この講座は、福祉やボランティアに関する理解を深めようと、毎年実施されているもので、同校1、2年生約140人が参加しました。

生徒は、「車いすに乗っている生活」をテーマに、水口町の菊池滋美さんから講話を聞いた後、車いすや高齢者疑似体験、音訳など8つの講座に分かれ、体験を通して障がい者や高齢者の気持ちやボランティアの基礎を学びました。



▲後ろ向きで坂を下る体験をする生徒

5 news

来て魅て甲賀 こうかなお宝大発見!

「新名神高速道路土山SA 甲賀ブランドPR」

市の観光PRイベントが、3月22日に新名神高速道路土山サービスエリアで行われました。

会場には、地域資源を活用した甲賀ブランドの商品や施設、歳時記を紹介するブースが設けられ、甲賀ブランド認定事業者自らが、訪れたお客様に試食してもらったりなど、熱心にブランド商品の良さをPRしました。

またステージでは、滋賀県住みます芸人のファミリーレストランのお2人による甲賀ブランドの紹介を折りませた軽妙なトークや、水口囃子による水口囃子の演奏などが行われ、大勢の人で賑わいました。



▲全国の行楽客を前に行われた甲賀ブランドのPR

6 news 美しい環境でお出迎え

[信楽高原鉄道運行再開支援 青少年清掃活動事業]

運行再開された信楽高原鉄道(SKR)を支援しようと3月27日、水口ロータリークラブ主催で信楽駅前の清掃活動が行われ、甲南地域の学童保育の児童約130人がごみ拾いに汗を流しました。観光客に美しい環境を提供することや、市内の子どもたちに、信楽の良さを知ってもらおうと実施されたもので、SKRで訪れた児童は、窓から見える風景に歓声を上げたり、清掃の後には陶器の絵付け体験をしたりして信楽を楽しむ一日となりました。



▲信楽駅ホームのごみ拾いを行う児童